



2013年5月15日発行 (季刊)

特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 A S K ビル 601

TEL 03-3204-4342 FAX 03-6457-6202

E-mail npo@hitomachi.org URL : <http://www.hitomachi.org>

郵便振替口座 00170-6-410791 市民シンクタンクひと・まち社

安心して地域で子育てを ～3園目の生活クラブ保育園を開設して～

生活クラブ 保育園 ぽむ・砧 園長 谷 嘉子

生活クラブ保育園3園目として2013年4月から、世田谷区砧に「東京認証保育所 生活クラブ保育園ぽむ・砧」がスタートしました。私は、準備段階からかわり、現在は園長として保育園の運営を行っています。区部はどこも同じような状況なのかもしれませんが、待機児が多く、申し込みがスタートするや否や多くの保護者からの問合せがありました。特に育児休業が終了してしまう1歳児の申し込みが殺到したり、出産前から保育園探しが始まったりしています。「預けるところがないと失職してしまう」「介護のため、子どもの預け先を探している」「一杯になってしまうなら保育料を先に支払ってでも確保したい」など、切実な声を聞きます。本当に子どもを産み育てていくのが難しい世の中であることを実感させられます。安心して地域で子育てができるためにはどうしたら良いのだろうと考えさせられる日々です。

地域の子育ての拠点をめざして

「ぽむ・砧」は4月からスタート。違う生活感の持ち主が集まり生活を共にするのですから、保育者も必死です。保育者の奮闘をよそに、子どもたちは実にたくましく成長しています。4月の初めはお母さんを求めて泣いていた子どもたちも、1か月ほど経つとにこにこした笑顔で登園してくるようになります。保護者も園生活に馴染んでくると、特に初めてのお子さんを持つ方から、離乳食やトイレトレーニングの相談などがあったりします。悩みを共有して一緒に考える中でお子さんに変化がみられ、成長をともに喜び合えるときは「よかった」と思います。「子どもが生まれたら、当然親になる」という期待が世間にはありがちです。経験の少ない親たちは戸惑うことも多く自信が薄れることも多々あります。「ぽむ」は、子どもの成長を支援するのはもちろんですが、保護者の子育ての力を引き出して自信を持って子育て

が出来るようにサポートすることも役割と考えています。保育者、保護者が一緒に考えることで、一人ぼっちの子育てではないという実感が生まれてくれば良いと感じます。さらに保護者同士のつながりも深め、地域でたすけあいながら安心して子育てが出来る雰囲気を作り出したいと思います。そんな柔らかな関係が、何年か先には、地域の子育て家庭にも広げられるように、「地域に役立つ拠点として機能できる」園をめざしていきたいです。

子どもが安心できる場所

また、生活クラブ保育園の大切な柱として「食」があります。食のテーマは、「おいしく楽しく食べる」です。当たり前すぎて、何のこと?と思われるかもしれません。おいしく食べるためには、思いきり遊ぶ時間が必要です。元気に遊べば、おなかのすき、野菜のほのかな甘みも敏感に感じとれます。食べておなかがいっぱいになったら、午睡もしっかり出来、午後も元気に遊べます。夜更しをする子どもたちが増えていると聞きますが、おいしく食べることを考えると必然的に規則正しい生活が一番となります。また、「楽しく食べる」のも大切な要素です。子どもたちは、親から離れた最初は、悲しくて場合によっては食べることや飲むことさえ拒否します。愛着や信頼関係がないと生きる気力さえ失うと言われるほどです。安心できる人と場所があってこそ楽しく食べられると考えています。

子どもたちの生活は、安心できる場所や信頼できる大人がいることで安定し、外に目を向ける意欲も出てくるのだなど日々の様子を見て痛感いたします。私自身も探究心あふれる子どもたちの心を感じ取る感性を持続したいと思います。